





環境省WLB計画改定の重点ポイント

職場満足度調査の結果(R3)

 テレワークの推進（84%）、時差出勤の推進（74%）等の取組に高評価。

 柔軟な働き方、休暇等取得への理解、良好な人間関係や職場の風通しの良さについて、8割近くが高い評価。

 約半数の職員が、今後も環境省で働き続けたいと回答。

 人事面での配慮やキャリアサポート、業務分担、仕事の効率性に関して、他の設問と比較して低い評価。

○今後も実施してほしいと思う働き方改革の取組

- ①業務の廃止・効率化 72.5%
- ②テレワークの推進 60.1%
- ③国会業務の効率化 59.6%
- ④人材育成・研修 43.0%、⑤管理職のマネジメント向上 40.9%、⑥職場におけるコミュニケーションの活性化 38.3%、⑦育児・介護等との両立支援 36.8%、⑧オフィス環境の整備（フリーアドレスの導入） 29.0%

- ・調査期間：令和4年5～6月
- ・対象：属性を踏まえて無作為抽出した317名の非管理職級(本省ベース)
- ・回答者：193名（男性65%/女性33%、本省70%/地方30%）

WLB計画改定の重点ポイント

※「選択と集中」を引き継ぎつつアップデート。

柔軟な働き方の更なる追求

- テレワーク、時差出勤の推進のほか、オフィス改革等を追求しつつ、テレワーク、フリーアドレス下で不足しがちな職員間の連携を支援する取組、Teams等のツールの活用推進

人材確保・育成への戦略的アプローチ

- カーボンニュートラル・地域脱炭素等の新たな政策課題を踏まえた適切な人員の配置とそのための人材の確保、（地方環境事務所の体制整備など）
- 「育サポ」の内容充実など、両立等のキャリアサポート
- 省内公募制度、霞が関版20%ルール¹の活用のほか、研修の充実等の自律的な成長機会の提供

業務見直し、管理職員のマネジメント向上

- 幹部・管理職員がコミットした業務見直し、マネジメント能力の向上のための研修・教材の充実、評価の徹底
- 業務改革目安箱の提案実現、副業DX人材（国会デジタル推進マネジャー）を中心とした国会業務効率化